



令和5年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和5年5月10日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎 敏明
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員総務経理部長 (氏名)島田 治彦 (TEL) (052)-222-8202
 定時株主総会開催予定日 令和5年6月28日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 令和5年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期の業績(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期	2,729	132.9	△40	-	△58	-	△57	-
4年3月期	2,052	118.5	△393	-	△406	-	327	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
5年3月期	△11.64	-	△1.3	△0.9	△1.5
4年3月期	65.69	-	7.6	△6.6	△19.2

(参考) 持分法投資損益 5年3月期 -百万円 4年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期	6,316	4,384	69.4	880.55
4年3月期	6,277	4,440	70.7	891.88

(参考) 自己資本 5年3月期 4,384百万円 4年3月期 4,440百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
5年3月期	624	△0	△238	823
4年3月期	410	1	△214	438

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
5年3月期	-	-	-	0.00	0.00	0	-	0.00
4年3月期	-	-	-	0.00	0.00	0	-	0.00
6年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00		-	

3. 令和6年3月期の業績予想(5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,080	12.8	100	-	90	-	70	-	14.05

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

5年3月期	4,984,500株	4年3月期	4,984,500株
5年3月期	5,194株	4年3月期	5,194株
5年3月期	4,979,306株	4年3月期	4,979,348株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部に弱さがみられるものの、景気及び個人消費は緩やかに持ち直している状況で推移いたしました。

当社におきましては、徹底した感染拡大予防対策を実施し、座席数の制限や客席・ロビーでの食事の禁止などの対策を継続し、お客様と公演関係者の安心・安全を最優先に考え、安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、注意深く上演していくことが課題となりました。6月の舞台『千と千尋の神隠し』の一部公演中止や7月の『山里亮太の140愛知公演』の中止、12月の『エリザベート』、1月の『ジョン王』の一部公演中止を除く、大半の公演を上演することができました。

今後につきましても、引き続き感染拡大の防止策を徹底し、社会経済活動のレベルが段階的に回復する中、徐々に公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和4年4月から令和5年3月までに公演を29種類、上演日数として194日間、上演回数として274回（前年同期249回）の実施を致しました。

〈当事業年度の上演実施作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
陽春花形歌舞伎	4月15日～24日	10	18
坂東玉三郎コンサート	5月7日～8日	2	2
北島三郎 御園座ファイナルコンサート	5月13日～15日	3	3
漫才サミットin名古屋	5月22日	1	1
坂東玉三郎 特別舞踊公演	5月27日～29日	3	3
ミュージカル『四月は君の嘘』	6月9日～12日	4	5
舞台『千と千尋の神隠し』	6月22日～7月4日	5	5
梅沢富美男・研ナオコ特別公演	7月9日～17日	9	13
山内恵介 恵音楽会2022	7月23日～24日	2	3
よしもと祭り10公演	7月26日～31日	6	10
夏休み！！！！吉本新喜劇&バラエティ公演	8月2日～7日	6	11
超歌舞伎2022 Powered by NTT	8月13日～16日	4	8
ミュージカル『流星の音色』	8月21日～28日	8	10
氷川きよし特別公演	9月5日～15日	11	15
鶴瓶御園座独演会	9月17日～18日	2	2
舟木一夫御園座特別コンサート2022	9月22日～23日	2	2
坂東玉三郎特別公演	10月1日～23日	23	21
少年たち あの空を見上げて	10月28日～11月6日	10	15
神田伯山独演会 御園座	11月8日	1	1
ミュージカル『ヘアスプレー』	11月12日～20日	9	12
年末恒例大爆笑大会『よしもと爆笑公演』	11月22日～27日	6	11
ミュージカル『エリザベート』	12月5日～17日	13	17
加藤登紀子ほろ酔いコンサート2022	12月24日	1	1
稲垣潤一コンサート2022	12月25日	1	1
御園座新春公演 前川清・藤山直美	1月6日～1月22日	15	23
『ジョン王』	1月26日～1月29日	3	4
ミュージカル『BONNIE&CLYDE』	2月6日～3月1日	21	35

細川たかし&吉本新喜劇	3月6日～3月13日	8	16
ミュージカル『ドリームガールズ』	3月22日～3月26日	5	6
合計		194	274

〈公演中止となった当事業年度の上演予定作品〉

公演名	上演予定期間	上演予定日数	上演予定回数
舞台『千と千尋の神隠し』	6月25日～7月3日	8	12
山里亮太の140愛知公演	7月29日	1	1
ミュージカル『エリザベート』	12月18日～12月21日	4	5
『ジョン王』	1月26日	1	1
合計		14	19

この結果、当事業年度の売上高は、27億2千9百万円（前期は20億5千2百万円）となりました。利益面では、営業損失4千万円（前期は営業損失3億9千3百万円）、経常損失5千8百万円（前期は経常損失4億6百万円）、当期純損失5千7百万円（前期は当期純利益3億2千7百万円）となりました。

なお、当事業年度に予定していた公演が中止となったことから、当該公演にかかる制作費・キャンセル料等の公演中止損失及び臨時休業等による損失を特別損失として1億1百万円計上しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響により公演を延期・中止した主催事業者に対して、公演の実施等に係る費用の負担を軽減するため、必要経費の一部を補助するコンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金等を、補助金収入として特別利益に1億8百万円計上しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産の部）

当事業年度末における流動資産の残高は、11億7千8百万円となり、前事業年度末に比べ2億8千9百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億8千5百万円、売掛金が1億6千1百万円増加した一方で、未収入金が2億7千万円減少したことによるものであります。固定資産の残高は、51億3千7百万円となり、前事業年度末に比べ2億5千万円の減少となりました。この主な要因は、建物が1億1千9百万円、機械及び装置が9千万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、63億1千6百万円となり、前事業年度末に比べ3千9百万円の増加となりました。

（負債の部）

事業年度末における流動負債の残高は、8億6千万円となり、前事業年度末に比べ3億2千2百万円の増加となりました。この主な要因は、未払法人税等が7千7百万円減少した一方で、買掛金が3億6千2百万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、10億7千1百万円となり、前事業年度末に比べ2億2千6百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が2億2千4百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、19億3千1百万円となり、前事業年度末に比べ9千5百万円の増加となりました。

（純資産の部）

当事業年度末における純資産の残高は、43億8千4百万円となり、前事業年度末に比べ5千6百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が5千7百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ3億8千5百万円増加し、8億2千3百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億2千4百万円の収入(前期は4億1千万円の収入)となりました。これは主に、売上債権1億6千1百万円、仕入債務3億6千2百万円の増加、補助金の受取額3億7千9百万円によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の支出(前期は1百万円の収入)となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億3千8百万円の支出(前期は2億1千4百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億2千9百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、令和5年5月より厚生労働省から2類から5類に変更され、社会経済活動の正常化に向かうという前提で令和6年3月期業績見通しを集計しております。当劇場においては、引き続き感染拡大予防対策を講じ、来場するお客様及び出演者・公演関係者の安全と安心を確保することに努めるとともに、時代が求めるエンターテインメントの発信にも挑戦し、コンテンツをより充実させた内容の公演を行ってまいります。

そうした前提のもと、令和6年3月期の当社主催の公演は、以下の通り予定しております。

歌舞伎公演につきましては、例年同様、4月と10月、来年2月の3回の公演を予定しております。来年2月には「市川團十郎白猿襲名披露公演」を予定しております。

また、8月は昨年一部公演中止となった舞台「千と千尋の神隠し」を予定しているほか、ミュージカル、舞台演劇、歌謡ショー、お笑いなど多種多様な公演を、公演種類として約30種類、公演回数として約230回提供してまいります。この中には、公演期間が10～25日間程度の期間に渡るものもあれば、1日間、2日間の短期公演もあり、さまざまなジャンルのファンの方に、何度も足をお運びいただけるような魅力ある公演を提供してまいります。

その結果、令和6年3月期の業績は、売上高30億8千万円(前期比12.8%)、営業利益1億円(前年度は営業損失4千万円)、経常利益9千万円(前年度は経常損失5千8百万円)、当期純利益7千万円(前年度は当期純損失5千7百万円)を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、令和4年6月及び令和4年12月の大型公演一部を中止して4種類の公演に及びました。しかし当社は感染対策の徹底を図り、当事業年度において予定していた大半の公演を上演することが出来ました。これにより、当事業年度の売上高は27億2千9百万円と前事業年度に比較して増加いたしました。大型公演の一部公演中止が影響して、営業損益及び経常損益については連続赤字となっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が続いております。

このような状況の中、令和5年4月以降に予定している公演についても、引き続き感染対策を行ったうえで実施しております。また、当事業年度末の現金及び預金の残高に加え、資金計画に基づき取引金融機関と協議を行い、適切に運転資金を確保する計画を実行しており、当該事象の解消が十分実現できるものと考えております。

以上の通り、重要事象等の解消は可能と考えており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当事業年度 (令和5年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	438,007	823,987
売掛金	96,200	257,672
貯蔵品	5,264	1,100
前渡金	5,133	12,698
前払費用	14,601	12,192
未収入金	320,468	50,067
未収還付法人税等	-	21,100
未収消費税等	3,422	-
その他	6,162	4
流動資産合計	889,260	1,178,823
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,960,825	2,961,495
減価償却累計額	△515,194	△635,744
建物(純額)	2,445,631	2,325,751
構築物	13,927	13,927
減価償却累計額	△3,965	△4,899
構築物(純額)	9,961	9,028
機械及び装置	999,881	999,881
減価償却累計額	△369,872	△460,861
機械及び装置(純額)	630,009	539,020
工具、器具及び備品	213,994	213,994
減価償却累計額	△111,574	△138,697
工具、器具及び備品(純額)	102,420	75,296
土地	2,124,656	2,124,656
リース資産	8,100	8,100
減価償却累計額	△4,821	△5,978
リース資産(純額)	3,278	2,121
有形固定資産合計	5,315,958	5,075,875
無形固定資産		
電話加入権	72	72
ソフトウェア	2,916	235
リース資産	18,983	12,283
無形固定資産合計	21,972	12,591
投資その他の資産		
投資有価証券	41,843	43,399
長期前払費用	2,813	806
保険積立金	4,549	3,962
その他	1,659	1,659
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	50,126	49,087
固定資産合計	5,388,057	5,137,554
資産合計	6,277,318	6,316,377

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当事業年度 (令和5年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,223	412,480
1年内返済予定の長期借入金	229,988	224,181
リース債務	8,663	8,791
未払金	19,024	24,386
未払法人税等	77,122	-
未払消費税等	-	27,084
前受金	147,511	156,253
預り金	1,545	3,029
その他	4,283	4,277
流動負債合計	538,362	860,483
固定負債		
長期借入金	1,024,181	800,000
リース債務	16,218	7,427
繰延税金負債	251,322	257,484
退職給付引当金	4,812	4,962
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,298,034	1,071,374
負債合計	1,836,397	1,931,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金		
資本準備金	2,137,599	2,137,599
その他資本剰余金	22	22
資本剰余金合計	2,137,621	2,137,621
利益剰余金		
利益準備金	112,500	112,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	627,906	627,906
別途積立金	350,000	350,000
繰越利益剰余金	△1,030,389	△1,088,347
利益剰余金合計	60,016	2,058
自己株式	△39,817	△39,817
株主資本合計	4,429,758	4,371,800
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,163	12,718
評価・換算差額等合計	11,163	12,718
純資産合計	4,440,921	4,384,519
負債純資産合計	6,277,318	6,316,377

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	2,052,229	2,729,705
売上原価	1,846,492	2,153,305
売上総利益	205,736	576,399
販売費及び一般管理費		
役員報酬	12,720	12,720
給料及び手当	53,181	43,817
退職給付費用	140	1,041
減価償却費	222,893	231,690
租税公課	64,900	37,498
広告宣伝費	8,815	7,630
支払手数料	53,224	58,930
その他	183,327	223,795
販売費及び一般管理費合計	599,203	617,124
営業損失(△)	△393,467	△40,724
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,297	1,378
受取保険金	2,502	-
その他	2,929	6,331
営業外収益合計	6,730	7,710
営業外費用		
支払利息	17,842	13,256
支払手数料	-	10,500
その他	1,850	1,414
営業外費用合計	19,693	25,170
経常損失(△)	△406,430	△58,184
特別利益		
補助金収入	891,423	108,851
特別利益合計	891,423	108,851
特別損失		
公演中止損失	77,250	72,324
臨時休業等による損失	45,607	29,160
特別損失合計	122,857	101,485
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	362,135	△50,818
法人税、住民税及び事業税	60,592	977
法人税等調整額	△25,535	6,162
法人税等合計	35,057	7,139
当期純利益又は当期純損失(△)	327,078	△57,957

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計	
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
	繰越利益剰余金							
当期首残高	△1,357,468	△267,062	△39,674	4,102,823	8,031	8,031	4,110,854	
当期変動額								
当期純利益又は当期純損失(△)	327,078	327,078		327,078			327,078	
自己株式の取得			△143	△143			△143	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					3,131	3,131	3,131	
当期変動額合計	327,078	327,078	△143	326,935	3,131	3,131	330,067	
当期末残高	△1,030,389	60,016	△39,817	4,429,758	11,163	11,163	4,440,921	

当事業年度(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	
当期首残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)							
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-
当期末残高	2,271,937	2,137,599	22	2,137,621	112,500	627,906	350,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	△1,030,389	60,016	△39,817	4,429,758	11,163	11,163	4,440,921
当期変動額							
当期純利益又は当期純損失(△)	△57,957	△57,957		△57,957			△57,957
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					1,555	1,555	1,555
当期変動額合計	△57,957	△57,957	-	△57,957	1,555	1,555	△56,402
当期末残高	△1,088,347	2,058	△39,817	4,371,800	12,718	12,718	4,384,519

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	362,135	△50,818
減価償却費	250,993	250,134
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5	150
受取利息及び受取配当金	△1,297	△1,378
支払利息	17,842	13,256
受取保険金	△2,502	-
公演中止損失	77,250	72,324
臨時休業等による損失	45,607	29,160
補助金収入	△891,423	△108,851
売上債権の増減額 (△は増加)	△49,750	△161,471
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,007	4,163
未収入金の増減額 (△は増加)	△230,133	△56
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,311	362,256
前受金の増減額 (△は減少)	48,231	8,742
預り金の増減額 (△は減少)	△33	1,484
未払金の増減額 (△は減少)	△3,652	5,362
未払又は未収消費税等の増減額	36,335	30,506
特別損益項目の調整額	202,022	△18,443
その他	11,390	△5,407
小計	△148,299	431,113
利息及び配当金の受取額	1,297	1,378
保険金の受取額	2,502	-
利息の支払額	△17,849	△13,262
公演中止による支出	△77,070	△72,324
臨時休業等による支出	△16,585	△10,717
補助金の受取額	663,585	379,308
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	3,327	△90,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	410,910	624,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△490	△670
投資有価証券の売却による収入	100	-
その他	1,824	587
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,434	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	-
短期借入金の返済による支出	△500,000	-
長期借入金の返済による支出	△205,831	△229,988
リース債務の返済による支出	△8,537	△8,663
その他	△143	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,511	△238,651
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	197,833	385,979
現金及び現金同等物の期首残高	240,174	438,007
現金及び現金同等物の期末残高	438,007	823,987

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
1株当たり純資産額	891円88銭	880円55銭
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	65円69銭	△11円64銭

(注) 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当事業年度 (令和5年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,440,921	4,384,519
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,440,921	4,384,519
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	4,979	4,979

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当事業年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	327,078	△57,957
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	327,078	△57,957
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,979	4,979

(重要な後発事象)

該当事項はありません。